



ホームページ
「中野あきと」

日本共産党市議会議員 中野あきと・事務所ニユース

みどりと清流

中野あきと事務所

〒191-0041 日野市南平6-25-1

南平ビル1階

TEL・FAX 042-599-3350

発行責任者 小林 進

第154号

2015年
5月号

しん 赤旗
ぶん

日刊紙1ヶ月 3497円

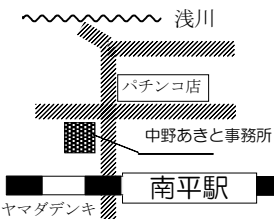
日曜版1ヶ月 823円

お申し込み 党南多摩事務所

TEL 042-374-4384

または中野事務所へ

法律・生活相談など
お気軽にお立ち寄り下さい



商店・商店街の再生へ本腰を！

昨秋の平山6丁目の京王ストアの閉店後
「買い物する所がなく困っている」の声が多数

中野あきと

豊田駅南口にあった「スーパーおた」の閉店に続き、昨秋には平山の「京王ストア」も閉店に。この数年で庶民の台所をささえてきた市内中堅スーパーが相次いで閉店する事態に「買い物が不便になって生活しづらい」「これからこの地域で暮らし続けることができるのだろうか」など切実な要望や不安、困惑の声が寄せられています。

3月の予算委員会では日野市に緊急抜本的対策を含め商業振興へ本格的に取り組むよう提案しました。

買い物に困っている平山地域への対策は急務！

昨年9月の京王ストアの閉店によって平山地域の住民は買い物をする所がなくなってしまう、たいへん不便な状況を強いられています。

閉店後の当面の対策として週1回、平山2丁目、3丁目の公園や5丁目の多摩信託車場において移動販売車による販売が行われていますが、スーパー等の代替えにはなりえず「何とかしてほしい」との切実な声が広がっています。京王ストア跡地の活用を

含め京王側に地域を開発した時点から負っている社会的責任を果たすよう市が積極的に求めていくべきです。

ただ手をこまねいているだけでなく本腰を入れて商店・商店街の再生・振興に足を踏み出すべき！

デフレ・消費不況に加え、豊田駅北口への大規模商業施設イオンの出店でさらに商店・商店街への深刻な影響が様々な形で広がっています。その上、安倍政権の「地方創生」の



第86回三多摩メーデー。会場で小池晃参議院議員、吉良よし子参議院議員とガッチリ握手する中野あきと市議。

2面へ続く

いっせい地方選後半戦

自共対決くっきり！

4月26日投票のいっせい地方選後半戦の区市町村議選で、日本共産党は2011年の前回比で62議席増やしました。東京の区議選は7議席増、三多摩の市議選は全員当選の2議席増でした。候補者を大量擁立した自民党は145人の増、民主党は129人の大幅減、公明党は区市町村議選でいずれも微減でした。

いっせい地方選後半戦の当選者数

	区議選		市議選		町村議選		合計		
	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	増減
共産	121	128	628	672	281	292	1030	1092	62
自民	259	267	503	634	24	30	786	931	145
民主	87	71	388	284	26	17	501	372	▲129
公明	169	166	914	908	175	170	1258	1244	▲14
維新		29		47		2		78	
社民	10	9	86	72	8	8	104	89	▲15

* 維新は前回の実績なし（▲は減）

短信

／肩を並べて兄さんと、
今日も学校に行けるのも……昔の歌の一節です。訪米し、得意満面
で演説する首相を見て、こんな歌詞が蘇りました。手土産は集団的自衛権です。今後自衛隊は、戦間地域にも地球の果てもこ一緒に歩むという日米合意です▼58年前の米上院。祖父の岸信介氏も「共産圏と闘う日本の決意」を演説しました。「日本を反共の砦に」という占領政策転換のお蔭で、日本の戦犯政治家は温存・利用されることになり、岸氏も東京裁判での処刑を免れたA級戦犯の一人です▼依然として自民党の中に流れる戦犯政治。首相はその申し子です。兄貴分のアメリカと肩を並べ世界で羽振りをきかせたいという思いを持ちつつ、先の戦争は正義の戦争だと言う戦後の国際秩序を否定する歴史観はそのままです▼冒頭の歌は「兵隊さんよありがと」と言う戦意高揚歌。「兄さん」と学校に行けるのも戦地で戦う兵隊さんのおかげ。兵隊さんありがと」という調子の歌詞が続きます。国家総動員法が施行された昭和13年「皇軍兵士感謝」と銘うち、大阪朝日が懸賞募集した佳作入選歌です。その3年後は開戦でした。「戦争する国……もう真つ平です。(K)

看板の名による「集約化・大規模化」「コンパクトシティー化」政策によって、いっそう市内の主要3駅への集約・集中化が煽られる状況にもなっています。

しかし、こうした集約化や大規模化の方向によってそれぞれの地域で日々生活している市民の暮らしの願いに応えることになるのか、日野市の持続可能で活力ある発展につながるのか、逆に地域をさらに衰退させ、住み続けることを困難にする方向ではないかと日野市に問題提起しました。

さらに、この10年来、商業振興に市として努力がなされてこなかったことを指摘し、商業振興策を進める上での視点を以下4点にわたり提起し「大型店を華々しく誘致するよりはるかに地味だが、日野の今後のまちづくりにとっては極めて重要な政策だ。本腰を入れた対策を求めたい」と提案しました。

これには担当部長も「おっしゃる通り。商工会からも提言をいただいたところ。努力していきたい」と応え、市長も「商業対策が弱かったのはその通り。これからがんばっていききたい」と応じました。

商店・商店街の再生・振興をすすめる上での4つの視点

- (1) 魅力的な商店街づくりで地域社会の再生をはかる。魚屋さん、肉屋さん、八百屋さんなど、多様な商店があるまちづくりをすすめる。
- (2) 住民の交流の場、コミュニティの場として商店街を位置づける。
- (3) 住民、消費者にとって魅力ある商店が増えるよう支援する。
- (4) 地域の公共財産として商店街を守る対策を強化する。経営努力の支援や商店の継承、空き家店舗対策を拡充する。

相次いで閉店したスーパー



京王ストア・上図
スーパーおおた・右図



「身近な所に」「バリアフリーな所に」投票所の設置基準を定め抜本的増設を！

昨年2月の日野市議選、12月の総選挙と多くの方々から「投票所を増やしてほしい」との要望が寄せられてきました。昨年3月議会でも増設の提案をしたところですが、あらためて今年の3月議会において、

(1) 日野市の投票所の基準(1投票所で8000人の有権者)では実状にあった増設はできないこと

(2) 高齢化の中でバリアフリーの投票所、丘陵地の多い日野市ならではの1投票所の有権者数を検討することが必要なこと

(3) 投票所のあり方については、日野市から独立した選挙管理委員会が役割を発揮して議論して基準・方向性を打ち出すべきことなどを提起し改革を求めました。

市も「大変大事なことだ」と応じました。今後の対応が注目されます。

ごみ広域化問題 記者会見開く

「ごみ処理施設建設基本計画書」に対する公金支出の不当・違法性を問題にした「住民監査請求」は、3月31日に受理されました。(先月号に掲載)

その後4月8日、「ごみ問題・監査請求をすすめる会」は、記者会見を開き、これを取材した翌朝の各紙が報道するとともに、ケーブルテレビがその夜の「デイリーひの」で報道しました。

なお、住民監査では、監査期限が60日間と定められています

改修が急がれる学校トイレの臭気

「気づいた時点で対応すべきだった」と副市長

すでに本ニュースでも紹介した学校トイレの臭気について、日本共産党市議団は3月議会で一般質問を行い早急な改善を要求しました。また、4月15日には、八小地域などの住民による市長と教育長宛ての要望書が346筆の署名を添えて提出されました。

応対した副市長は「臭気発生は事実で対応が遅れ申し訳なかった。気づいた時点で対応すべきであった」と答えました。

市は、排水管の高圧洗浄やコーキング

グ(防水などのために、隙間をうめること)などの処置をすると言明しましたが、改修の時期については答えませんでした。市は、「臭気に対する手当てはできた」としていますが、再発生するようであれば根本的な改修は必要と認めています。子供が使えない和式を洋式にすることも含めた抜本的な対策は必要で、党市議団は全校の調査も計画しています。

なお、この申し入れには共産党がかざわ美樹市議が同席しました。

《2015年 6月の無料法律相談》

市役所6階 共産党控室 午後1時～3時

6月 11日(木)

※予約が必要ですので、お申し込み下さい。

ご感想・ご意見をお寄せ下さい。